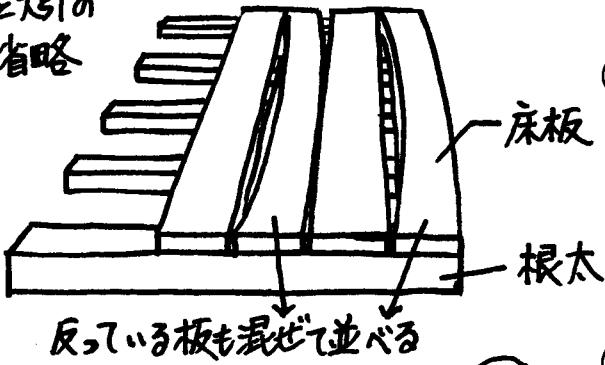


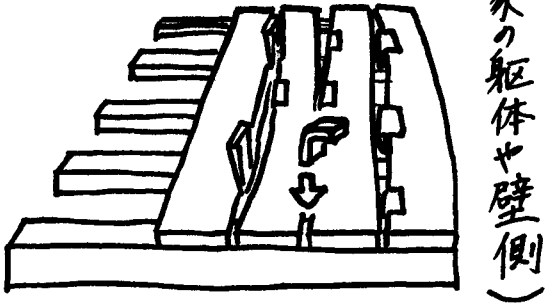
# ～ 床板材の”反り”矯正方法 ～

※東柱と西の  
図は省略



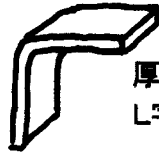
- ① 根太の上に床板を数枚並べる。  
反っている板も混ぜて並べる。  
※慣れるまでは4, 5枚くらいずつ  
施工する方が効率的です。

(庭側)



- ② 床板と床板の隙間にスペーサーを  
挟んで目地幅を均一にする。

<スペーサー 例>

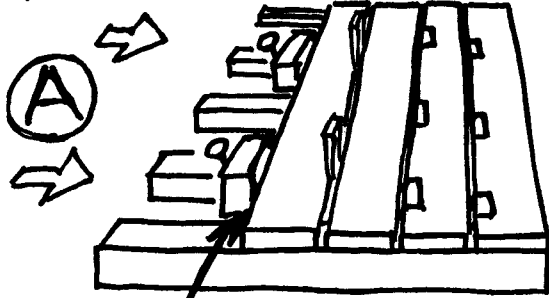


厚み3.5～4mm程度の  
L字金物アングル



ステンレスの金物は  
高価なので、端材で  
作ったクサビでも  
OK!

強く押し矯正しながら端材を固定

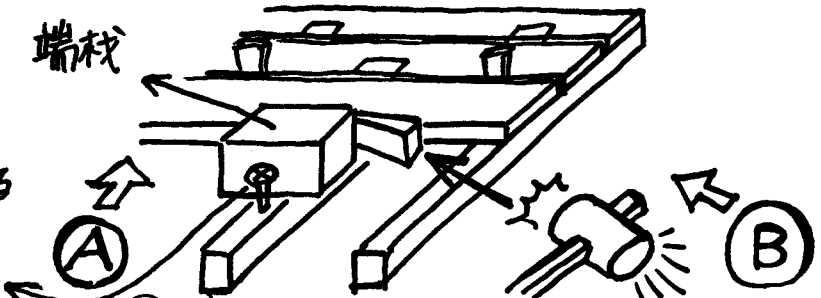


- ③ 床板を矢印Aの方向に強く押して  
反りを矯正しながら 数ヶ所、  
端材を根太に仮止めし固定する。  
(一人で施工の場合は足で押さえる)

床板と端材の隙間(矢印B)に  
クサビを打ち込み、さらに矯正する。

- ④ ②  
ここにクサビを打ち込み  
矯正具合を調整する

この仮ビスは後で抜くので仮止め程度に

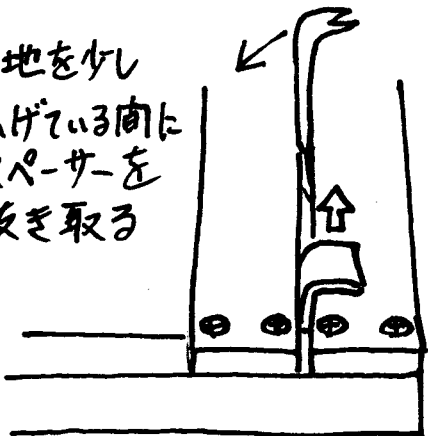


- ④ 下穴あけ&ビス止めが終わったら  
スペーサーと端材を外す。

ビス止め終了後、スペーサーが  
取れにくい場合、  
インテリアボール (20～30cm位のもの)を  
使うと便利です。床板の隙間に  
入れて少し広げている間に  
スペーサーを抜き取ります。

下部が三味線のバチのような形になっているもの

目地を少し  
広げている間に  
スペーサーを  
抜き取る



※ご施工の際は安全にご注意頂きますよう何卒宜しくお願い申し上げます。